

α (アルファ) 世代

日本の人口は減少に転じていますが、世界人口は 100 億人を超えるピークの時代を迎えています。「Z 世代」に続く 2010~2024 年生まれの若者、私たちにとっては孫たちの世代が「 α 世代」と呼ばれています。世界全体では人類史上最多となる 20 億人、日本には約 1400 万人が存在します。テクノロジーの進化による大変革期、AI 時代の幕開けに育つこの世代が、50 年後には社会の中核を担うことになるでしょう。

日本経済新聞の 2026 年元日のトップ記事で、「 α 世代の未来」と題して、自由な世界、自ら描く世界について、各界・各世代の声が紹介されていました。

柳井正ユニクロ会長は「AI に頼り過ぎてはいけない、やっぱり自分で考える習慣が必要だ。大学などで学ぶことは他人の考えであり、自分の頭で全て考え、自分で結論を出すようにしよう。毎日、成長しようと思ってほしい。同じ場所に留まり、同じことを繰り返すだけなら、あなたの人生は何ですか?ということになる」と述べています。

現在の α 世代の若者たちへのインタビュー記事が掲載されていました。

2050 年の未来の社会について聞くと「明るい」と答えた人が 51%、「暗い」と答えた人が 49%と拮抗しています。「明るい」と答えた人の 85%が「技術の進歩」を理由に挙げ、「暗い」と答えた人の 61%は「気候変動」を理由としています。また、50 年後に向けて解決すべき課題として、「AI が人類の知恵を超えて制御できなくなる。戦争に悪用される例も出てくるだろう」との懸念も示されています。

Copilot で「 α 世代の人物像」の画像生成したところ、ロボットと共存し、タブレットやスマホを手に楽しんでいる様子が描かれました。

また、Copilot に、次のように問いかけてみました。

「私たちは、 α 世代が社会の中心になる 50 年後が平和であることを願っています。人工知能やロボットが、人類の知識や能力を超えて、人類が、人口知能で動くロボットなどを正しく制御しきれなくなり、戦争に悪用されることを懸念しています」

Copilot からは、

「倫理と規制の重要性として、AI やロボット技術の発展に伴い、倫理的な指針や国際的な規制の整備が不可欠です。技術が人類の安全と平和に貢献するためには、社会全体で議論し、ルールを作っていく必要があります」と、回答がありました。



α (アルファ)世代の若者たちとロボット